

中野市の地球温暖化についてのアンケート調査結果

1 調査概要

(1) 目的

環境問題に対する市民及び事業者の意識、取組の実施状況、市の環境施策に対するニーズを把握し、「中野市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に向けた基礎資料とすることを目的として、市民及び事業者アンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象・調査期間・回答数

ア 市民アンケート調査

| | |
|------|--|
| 調査対象 | 中野市住民 |
| 調査期間 | 2023年7月20日～2023年8月31日 |
| 調査方法 | ・市内施設に調査票を設置し、紙媒体による回収 ・URLをメールと広報誌で周知し、WEB上で回収 |
| 回答数 | 532件 |

イ 事業者アンケート調査

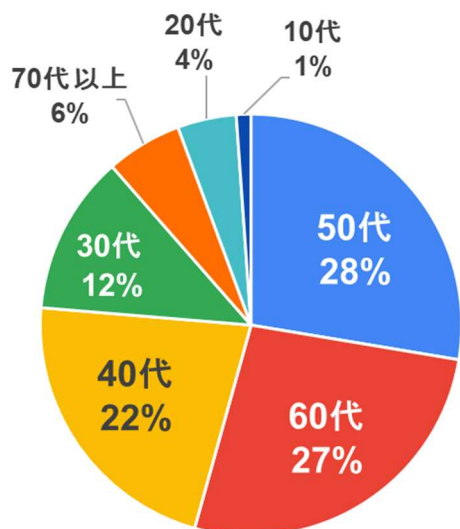
| | |
|---------|-------------------------|
| 調査対象 | 市内事業者 100社 |
| 調査期間 | 2023年7月18日～2023年8月25日 |
| 調査方法 | URLを表示した調査票を発送し、WEB上で回収 |
| 回答数・回答率 | 53件・53% |

2 住民アンケート調査結果

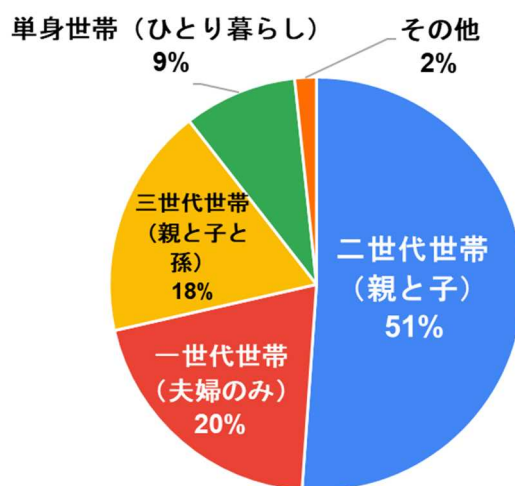
【質問1】 ご回答者について、それぞれ該当するものを1つお選びください。

(n=532)

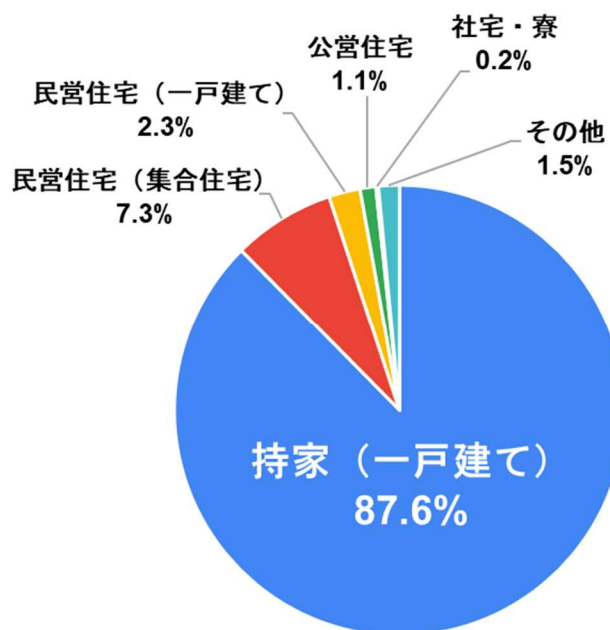
① 年代



② 世帯人数（回答者を含む）



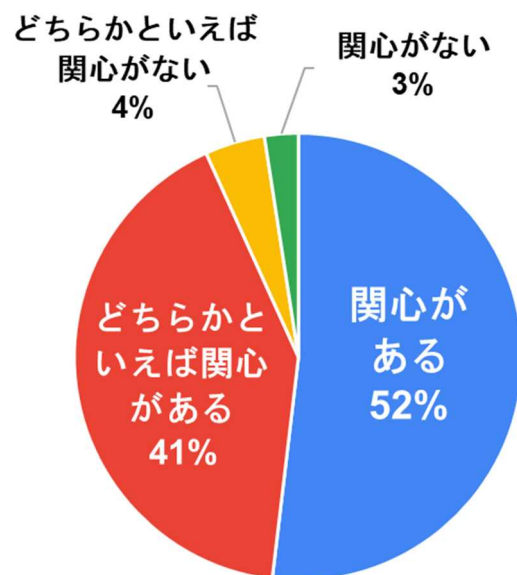
③ 住居形態



【質問2】 あなたは地球温暖化の問題に関心がありますか。

・「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と答えた回答者は全体の93%であった。

(n=532)

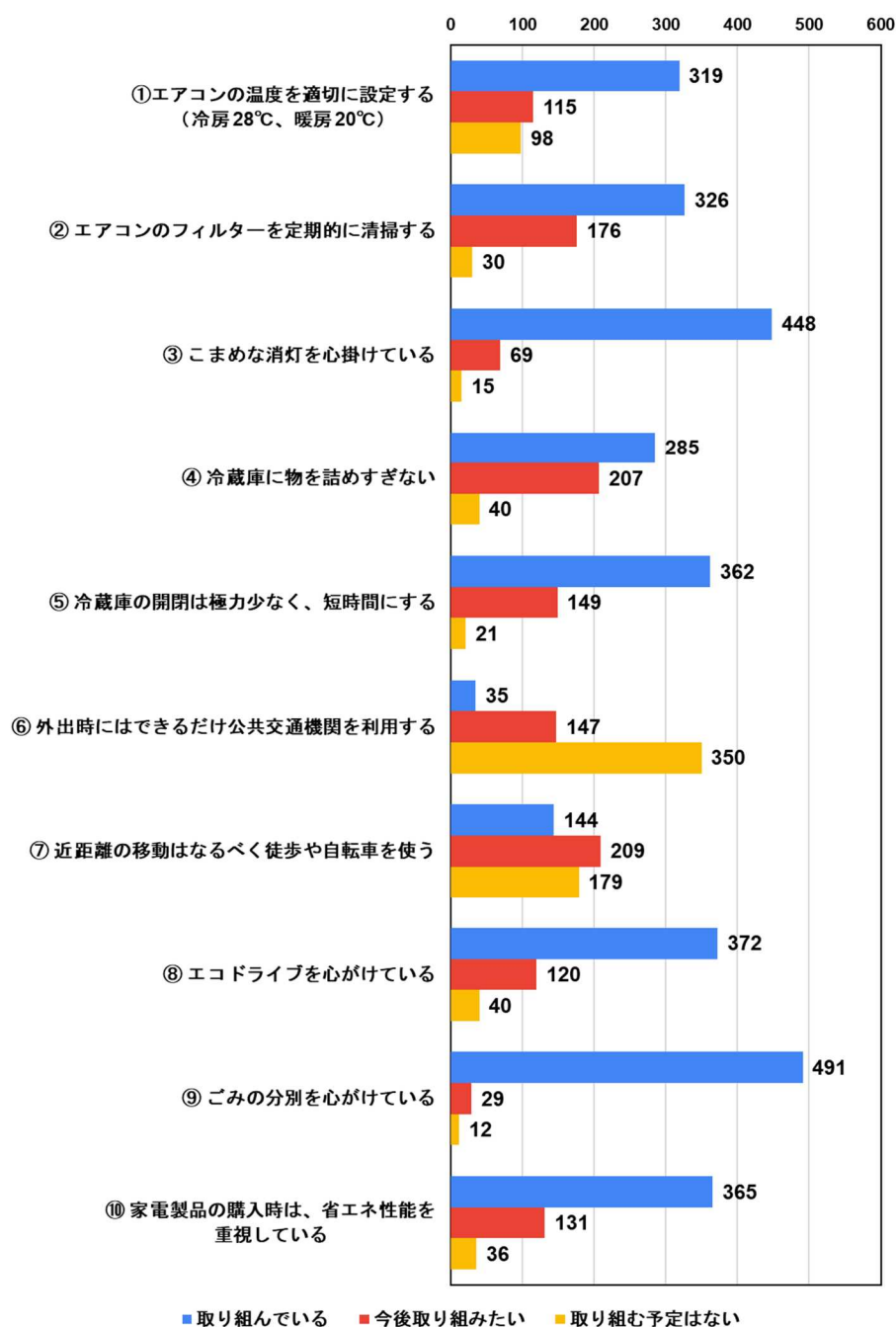


【質問3】 あなたは次の取組を行っていますか。

・「取り組んでいる」の項目では、「⑨ ごみの分別を心がけている」、「③ こまめな消灯を心掛けている」、「⑧ エコドライブを心がけている」の回答が多かった。

・「取り組む予定はない」の項目では、「⑥ 外出時にはできるだけ公共交通機関を利用する」、「⑦ 近距離の移動はなるべく徒歩や自転車を使う」、「① エアコンの温度を適切に設定する」の回答が多かった。

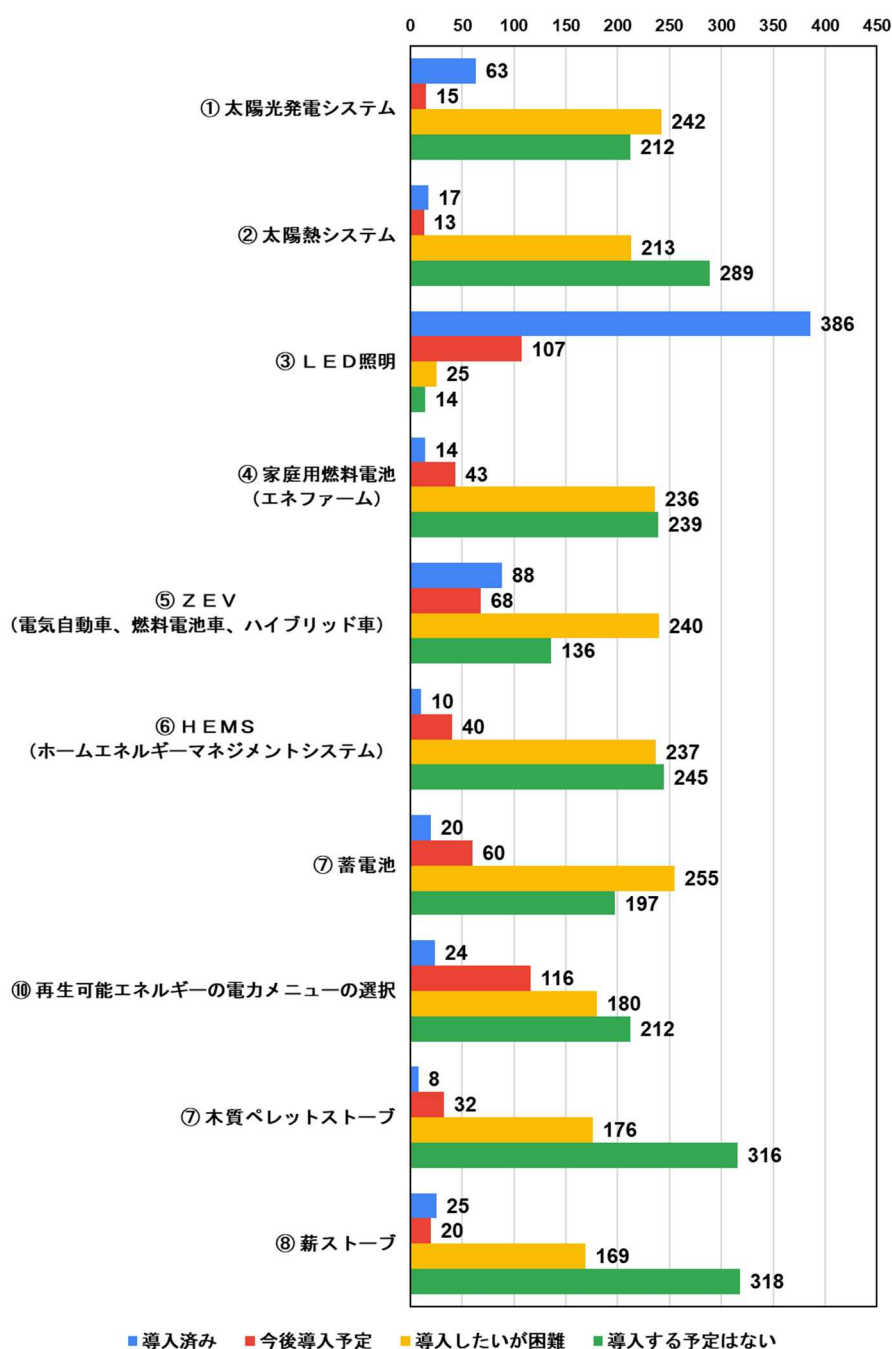
(n=532)



【質問4】 あなたは次のような省エネルギー設備等を導入していますか。

・「導入済み」の設備については、「③ LED照明」が最も多く、次いで「⑤ ZEV（電気自動車、燃料電池車、ハイブリッド車）」、「① 太陽光発電システム」となった。
 ・「導入したいが困難」、「導入する予定はない」設備の合計回答数では、「② 太陽熱システム」、「⑦ 木質ペレットストーブ」、「⑧ 薪ストーブ」の順に多くなった。

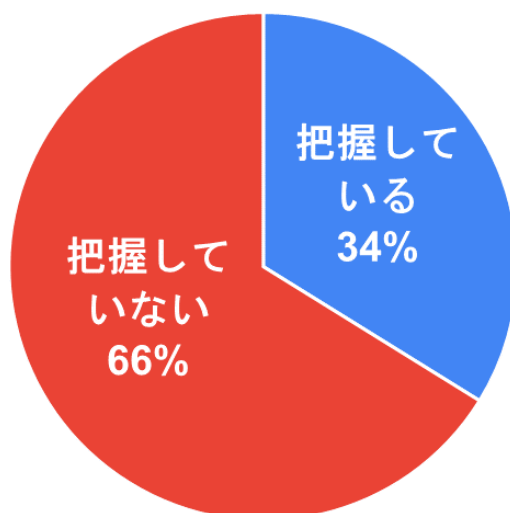
(n=532)



【質問5】 あなたはひと月あたりの電気・ガス・灯油の使用量を把握していますか。

・ひと月あたりの電気・ガス・灯油の使用量について、把握している回答者は全体の34%であった。

(n=532)

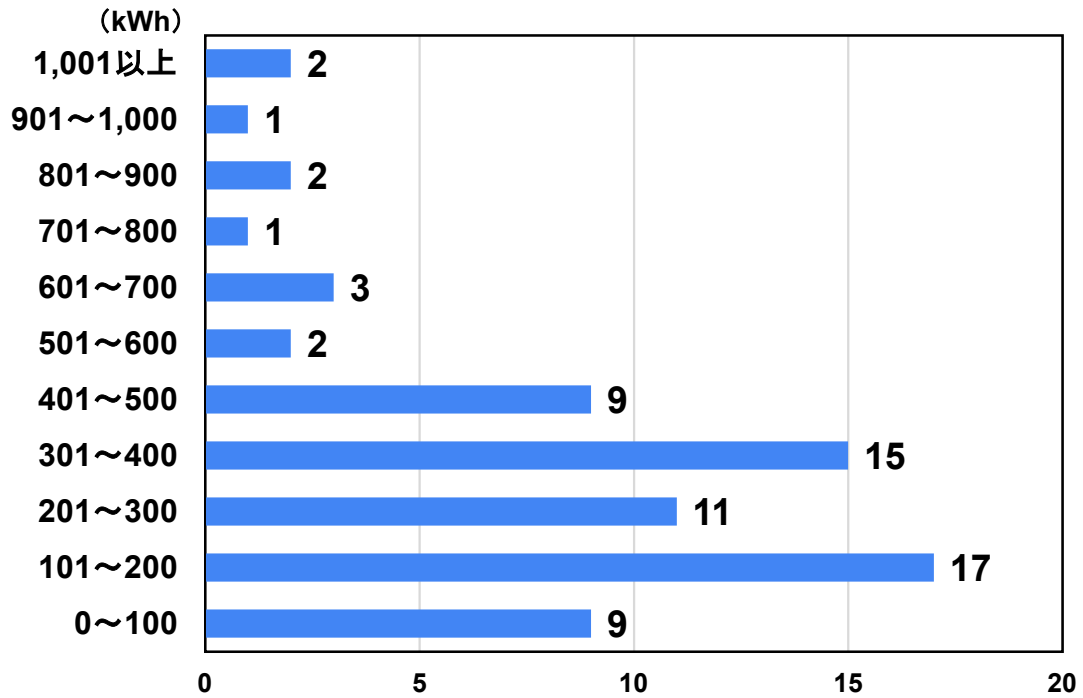


【質問6】 ひと月あたりの概ねの電気・ガス・灯油・その他燃料の使用量及び料金を教えてください。

① 電気使用量

- ・質問5において、ひと月あたりの電気・ガス・灯油の使用量を把握している回答者のうち、電気使用量で最も多い回答は「101～200kWh」であった。
- ・単身世帯におけるひと月あたりの電気使用量の中央値は197 kWhであった。
- ・一世代世帯におけるひと月あたりの電気使用量の中央値は200kWhであった。
- ・二世帯世帯におけるひと月あたりの電気使用量の中央値は320kWhであった。
- ・三世帯世帯におけるひと月あたりの電気使用量の中央値は400kWhであった。

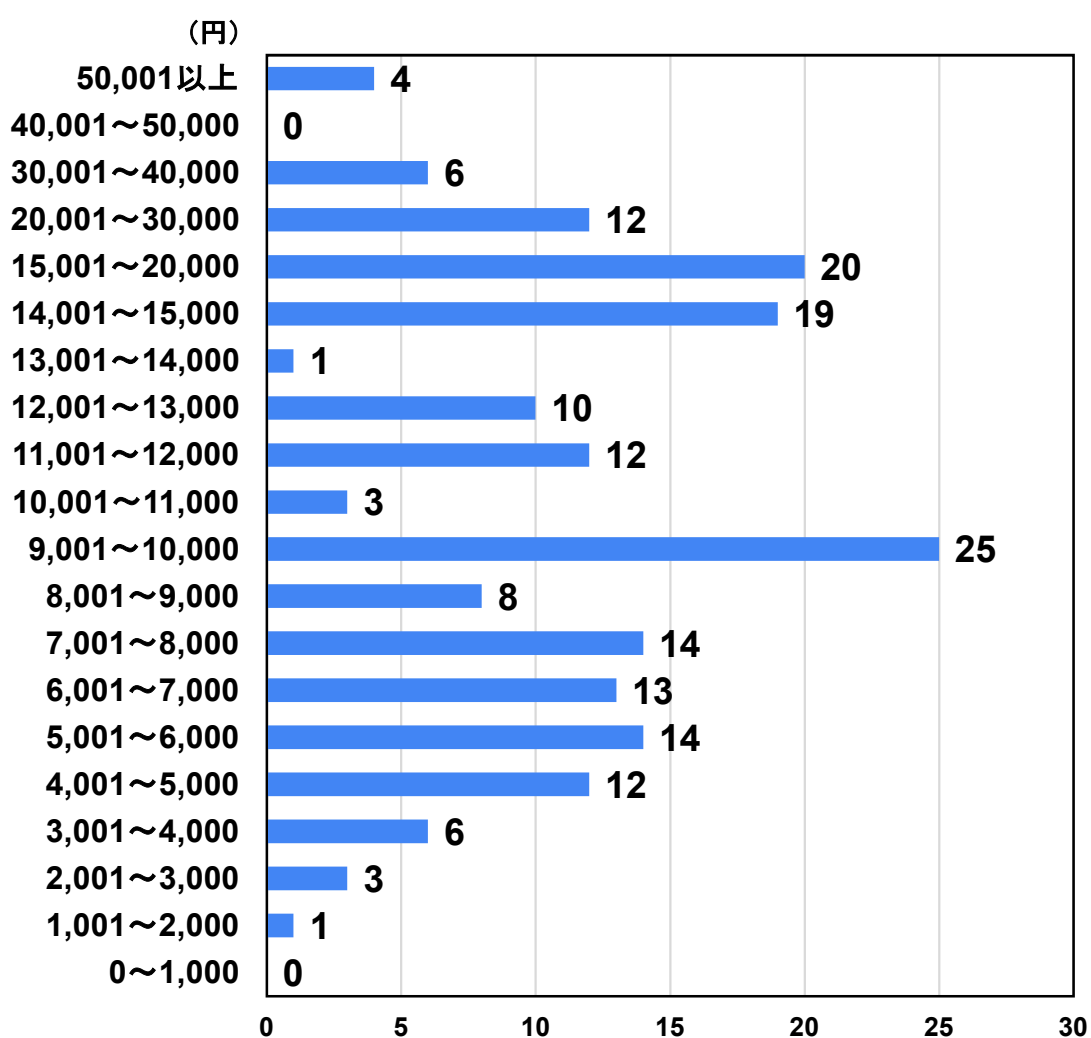
(n=72)



② 電気料金

- ・質問5において、ひと月あたりの電気・ガス・灯油の料金を把握している回答者のうち、電気料金で最も多い回答は「9,001～10,000円」であった。
- ・単身世帯におけるひと月あたりの電気料金の中央値は6,500円であった。
- ・一世代世帯におけるひと月あたりの電気料金の中央値は10,000円であった。
- ・二世帯世帯におけるひと月あたりの電気料金の中央値は10,007.5円であった。
- ・三世帯世帯におけるひと月あたりの電気料金の中央値は14,000円であった。

(n=183)

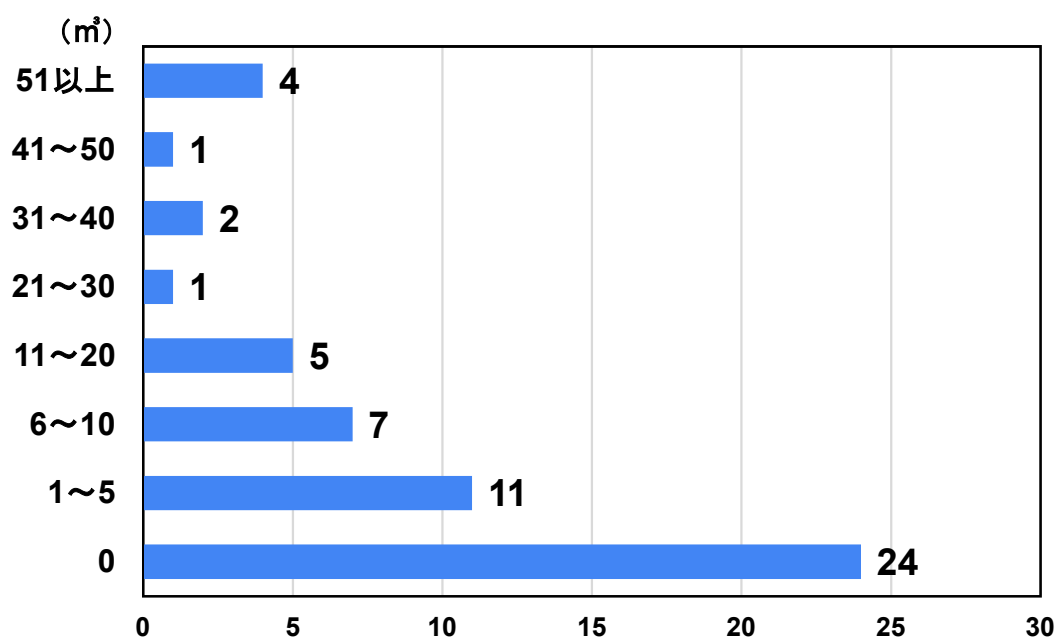


③ ガス使用量

・質問5において、ひと月あたりの電気・ガス・灯油の使用量を把握している回答者のうち、ガス使用量で最も多い回答は「1～5 m³」であった。「ガスを使用していない」回答も多かった。

- ・単身世帯におけるひと月あたりのガス使用量の中央値は7.25 m³であった。
- ・一世代世帯におけるひと月あたりのガス使用量の中央値は2.5 m³であった。
- ・二世帯世帯におけるひと月あたりのガス使用量の中央値は0 m³であった。
- ・三世帯世帯におけるひと月あたりのガス使用量の中央値は2.5 m³であった。

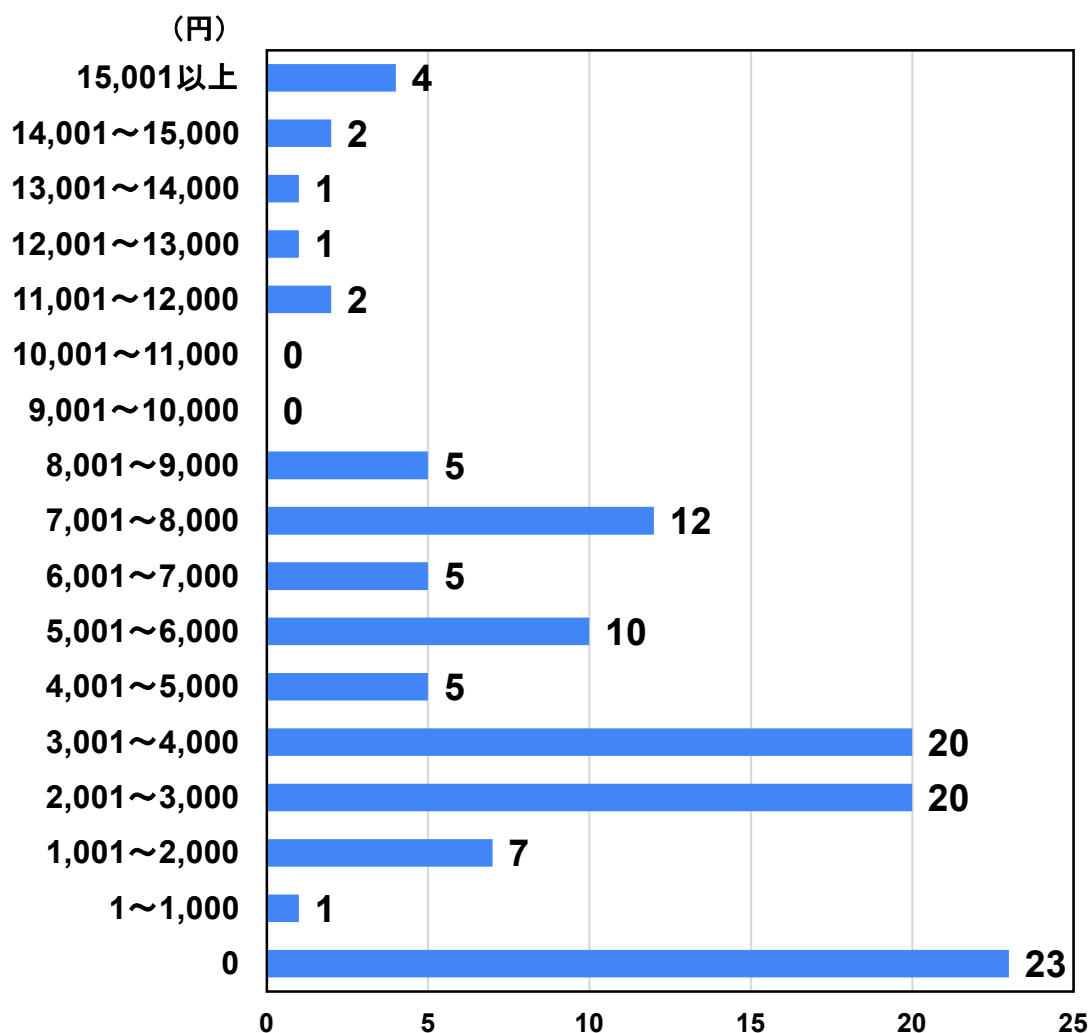
(n=55)



④ ガス料金

- ・質問5において、ひと月あたりの電気・ガス・灯油の料金を把握している回答者のうち、ガス料金で最も多い回答は「2,001～3,000円」、「3,001～4,000円」であった。使用量同様、ガスを使用していない回答者も多かった。
- ・単身世帯におけるひと月あたりのガス料金の中央値は6,000円であった。
- ・一世代世帯におけるひと月あたりのガス料金の中央値は3,000円であった。
- ・二世帯世帯におけるひと月あたりのガス料金の中央値は3,800円であった。
- ・三世帯世帯におけるひと月あたりのガス料金の中央値は3,250円であった。

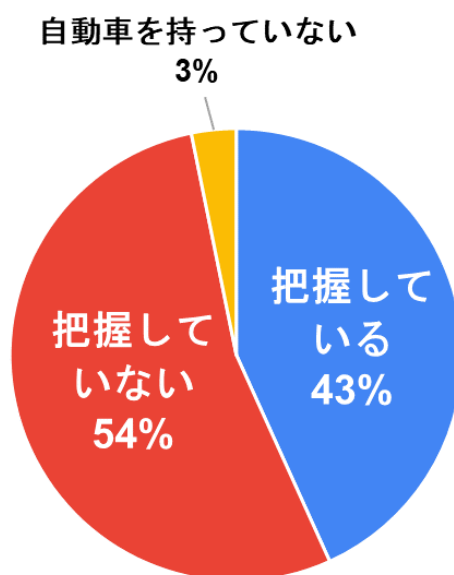
(n=118)



【質問7】 あなたは一年間あたりの自動車の走行距離を把握していますか。

- ・一年間あたりの自動車の走行距離について、把握している回答者は全体の 43%であった。
- ・「自動車を持っていない」回答者が3%存在した。

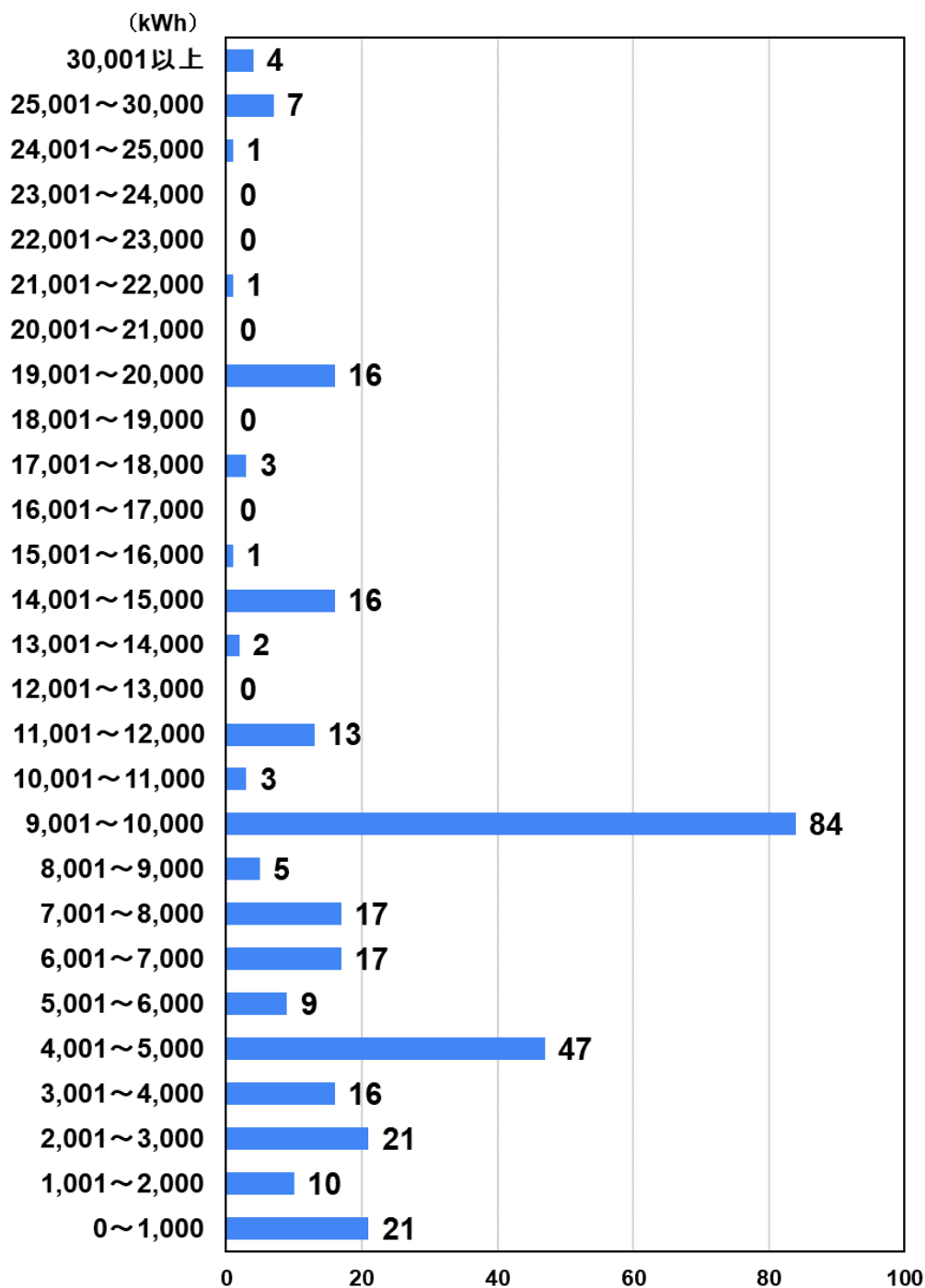
(n=532)



【質問8】 一年間あたりの概ねの自動車の走行距離を教えてください。世帯で複数台所有している場合は、車両別に走行距離を教えてください。

・質問7において、一年間あたりの自動車の走行距離を把握している回答者のうち、最も多い回答は「9,001～10,000km」であり、中央値は8,000kmであった。

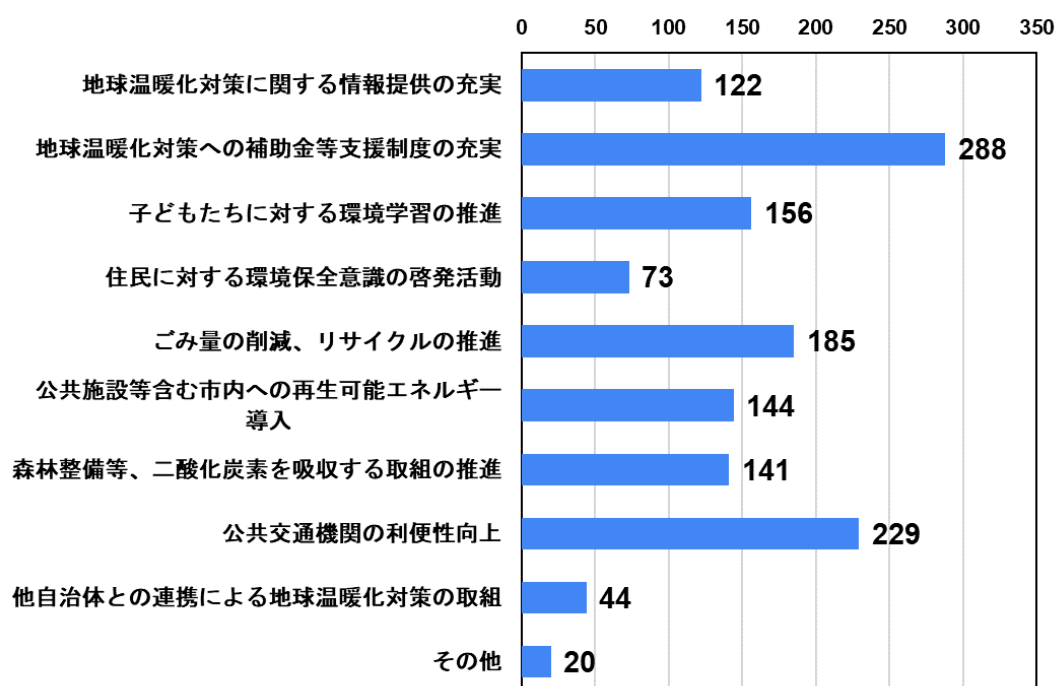
(n=314)



【質問9】地球温暖化の原因となる二酸化炭素を削減するため、市に行ってほしい取組は何ですか。（3つまで回答可）

・市に行ってほしい取組について、「地球温暖化対策への補助金等支援制度の充実」が最も多く、次いで「公共交通機関の利便性向上」、「ごみ量の削減、リサイクルの推進」となった。

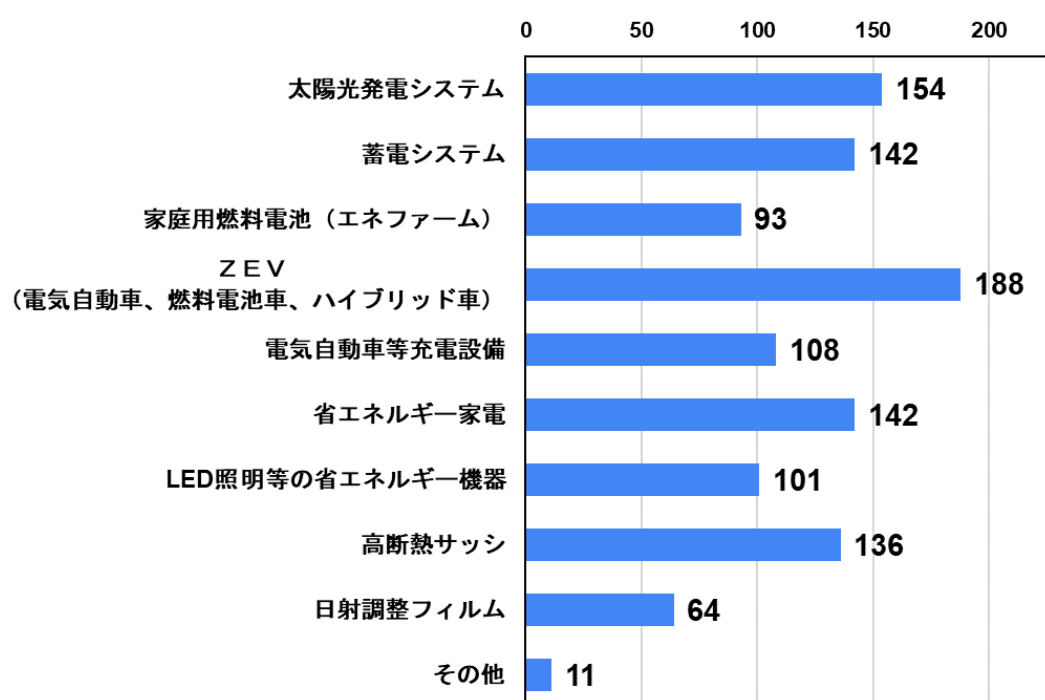
(n=532)



【質問 10】具体的に取り入れてほしい補助金制度はありますか。(3つまで回答可)

- ・質問 9 において、「地球温暖化対策への補助金等支援制度の充実」を選択した回答者のうち、「ZEV（電気自動車、燃料電池車、ハイブリッド車）」が最も多く、次いで「太陽光発電システム」、「蓄電システム」、「省エネルギー家電」となった。
- ・なお、質問9において「地球温暖化対策への補助金等支援制度の充実」を選択しなかった回答者からの回答も多くあった。

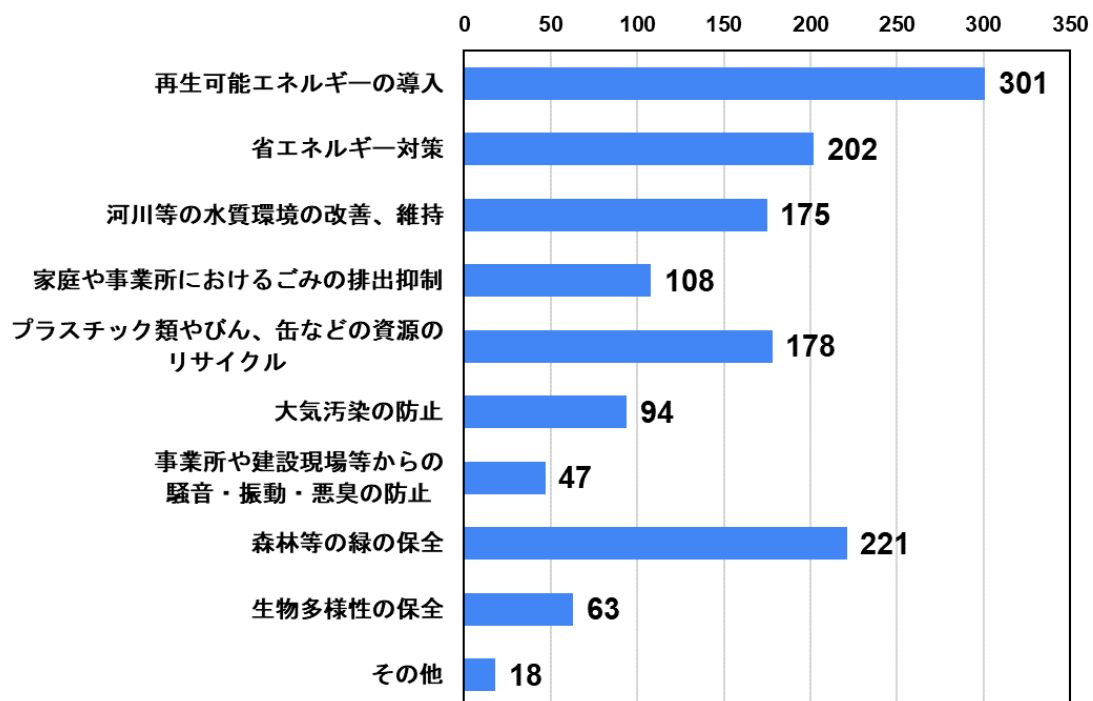
(n=435)



【質問 11】 中野市の環境をより良くするため、市が取り組むべき課題は何だと思えますか。（3つまで回答可）

・市が取り組むべき課題について、「再生可能エネルギーの導入」が最も多く、次いで「森林等の緑の保全」、「省エネルギー対策」となった。

(n=532)

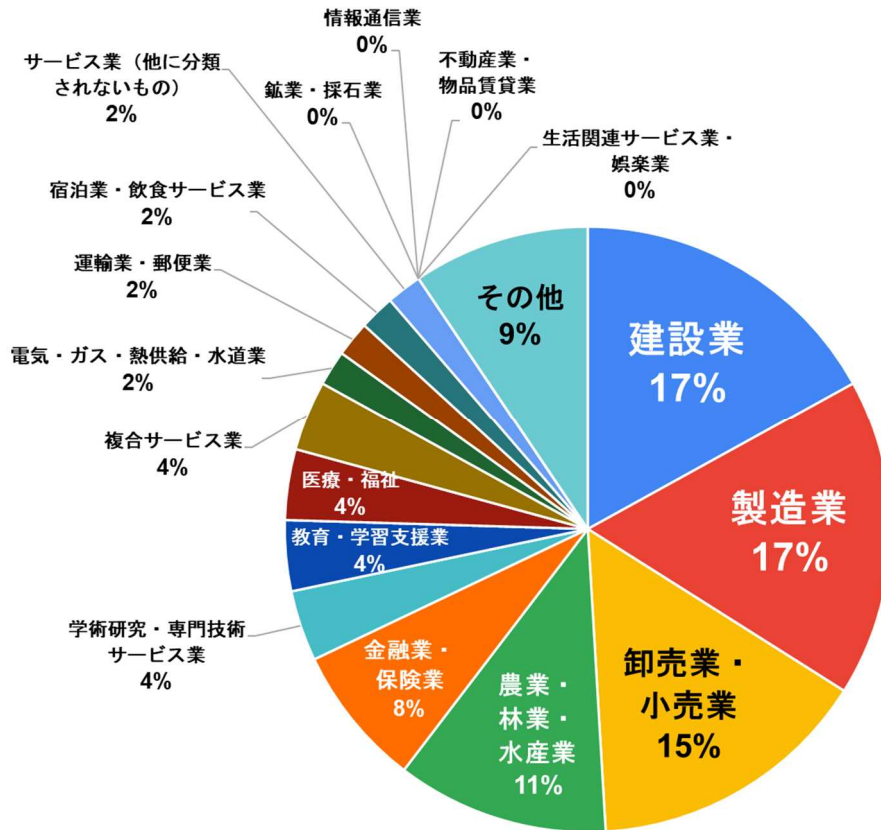


3 事業者アンケート調査結果

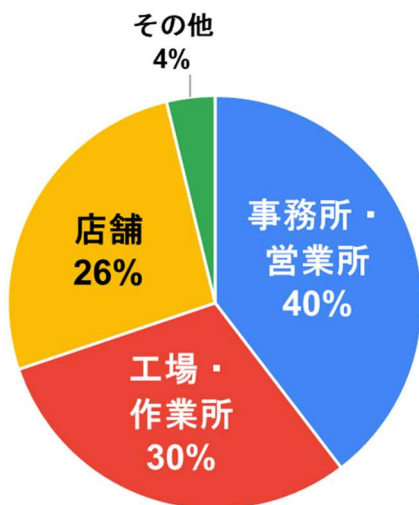
【質問1】貴組織について、それぞれ該当するものを選択してください。

(n=53)

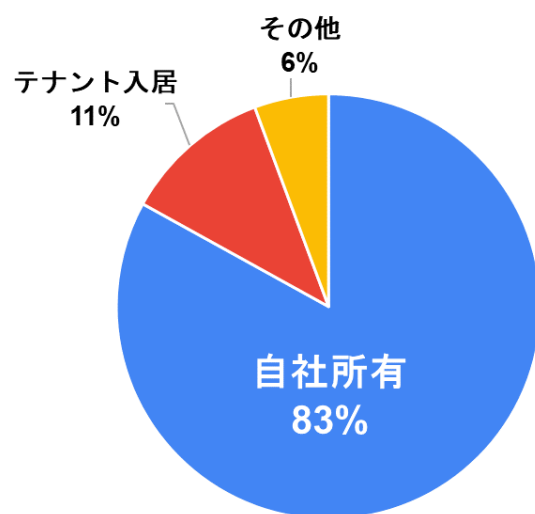
① 業種



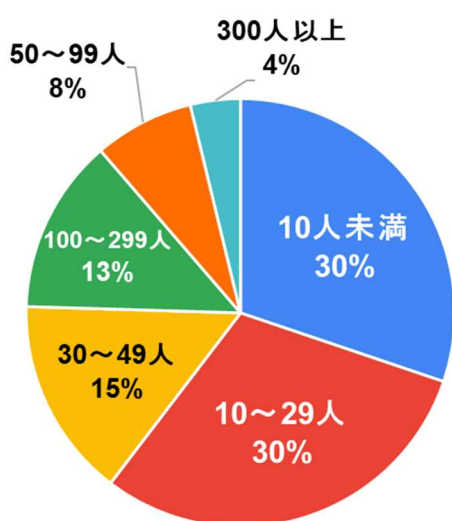
② 事業所の形態



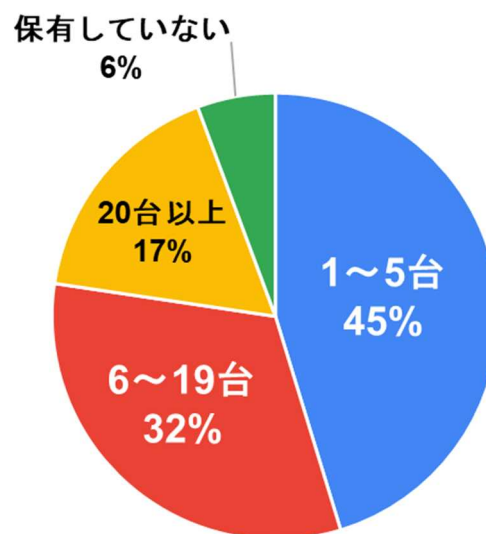
③ 入居形態



④ 従業員数



⑤業務自動車の保有台数

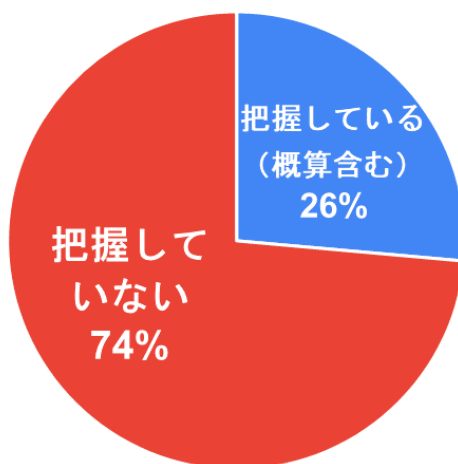


【質問2】

(1)貴組織では、温室効果ガス排出量の把握をしていますか。

・本調査に回答した事業者のうち、自社の温室効果ガス排出量を把握している事業者は26%であった。

(n=53)



(2-1) 把握している場合、直近の排出量をご回答ください。

【回答】

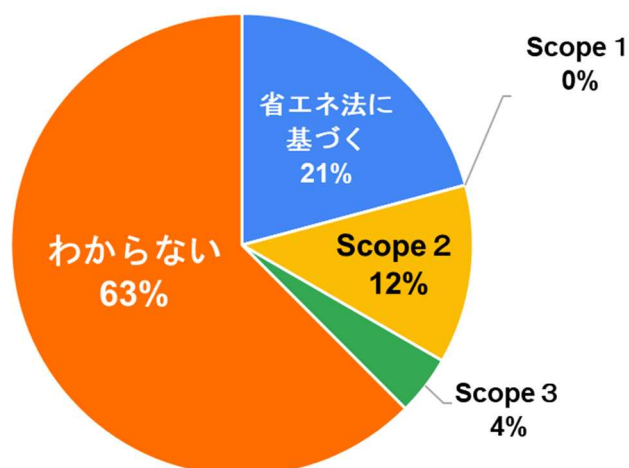
- ・従業員数 10 人未満：11t
- ・従業員数 10～29 人：39t-CO₂(2022 年) 、 3t-CO₂(2022 年)
- ・従業員数 30～49 人：2,944 (2021 年度)
- ・従業員数 50～99 人：584t-Co₂ (2022 年 6 月～2023 年 5 月) 、 9,035t-CO₂ (2022 年) 、 2661t-CO₂(2017 年) 100～299 人
- ・従業員数 100～299 人：2,199t-CO₂ (2022 年) 、 558t-co₂(2022 年) 、 3547 (2022) 、 1043 2022 年 300 人以上
- ・従業員数 300 人以上：1,677.43t 2022 年

(n=12)

(2-1) 把握している場合、算定の対象方法や範囲をお答えください。

・把握していると回答した事業者のうち、「省エネ法に基づく」の回答が全体の 21%であった。

(n=24)

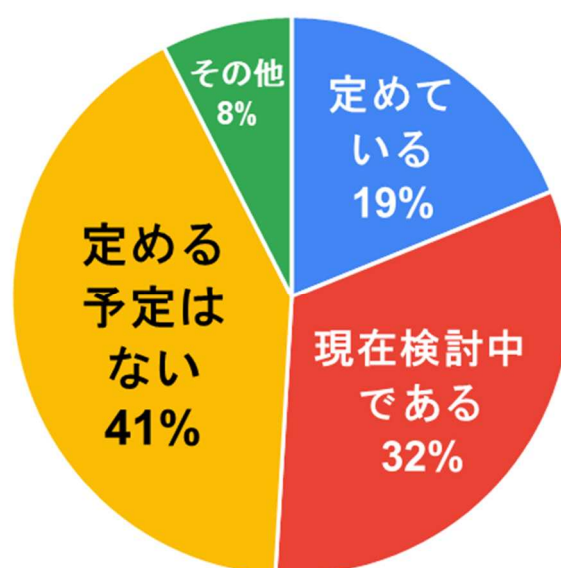


【質問3】

(1)貴組織では、温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めていますか。

- ・本調査に回答した事業者のうち、51%の事業者が「定めている」、「現在検討中である」と回答し、削減目標や方針の設定に積極的であった。
- ・本調査に回答した事業者のうち、41%の事業者は今後も温室効果ガス排出量の削減に向けて特に方針を「定める予定はない」と回答した。

(n=53)



(2)定めている場合、目標や方針をご回答ください。

【回答】

- ・ 2020 年度排出量の 16.8%以上削減
- ・ 2023 年度 CO2 排出量 600t 以下
- ・ 2025 年には、二酸化炭素排出量を 2022 年度比 4%削減
- ・ 2030 年度 60%減 (2013 年度比)
- ・ 2030 年度までに 2013 年度比 46%削減
- ・ 2030 年度までにゼロ
- ・ 環境方針を定め、環境への取組を進めている。
- ・ 森林育成や再造林を通じ、吸収源対策を進めている。当組合ビジョンでは 2030 年に新植 10ha、間伐 100ha が目標。
- ・ 前年度排出量より 1 %削減させる
- ・ 全ての事業活動において温室効果ガスの排出削減に取り組む
- ・ 毎年 1 %ずつ削減。
- ・ 毎年前年度比 1%削減

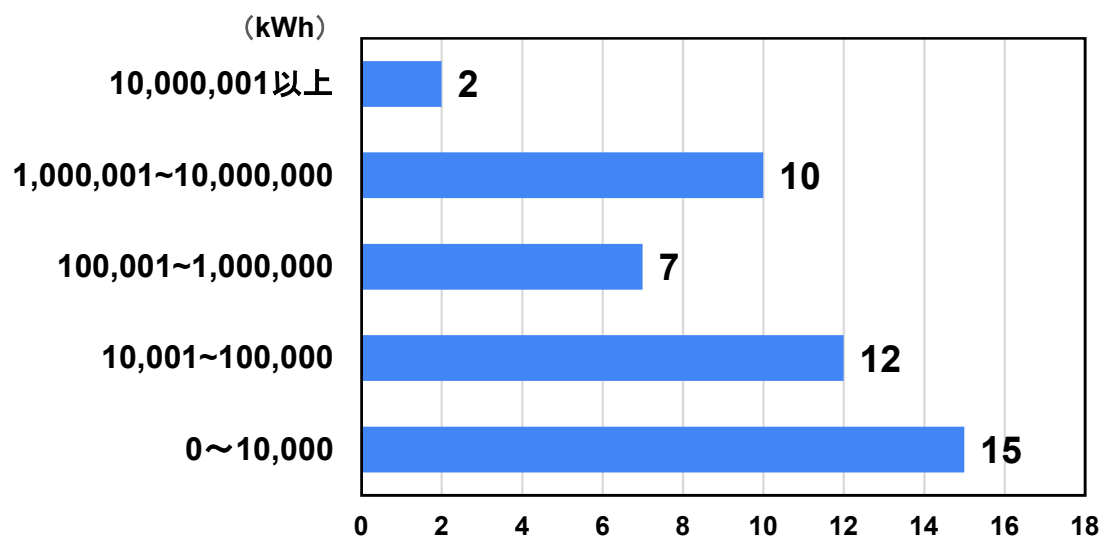
(n=12)

【質問4】 貴組織の電気・ガス・灯油・その他の燃料の使用量及び料金をご回答ください。

① 電気使用量

- ・事業規模によって回答が異なる結果となった。
- ・従業員数 10 人未満の事業所における中央値は 6,070kWh であった。
- ・従業員数 10～29 人の事業所における中央値は 35,737kWh であった。
- ・従業員数 30～49 人の事業所における中央値は 157,359 kWh であった。
- ・従業員数 50～99 人の事業所における中央値は 2,369,985 kWh であった。
- ・従業員数 100～299 人の事業所における中央値は 3,043,779 kWh であった。
- ・従業員数 300 人以上の事業所における中央値は 57,132,246 kWh であった。

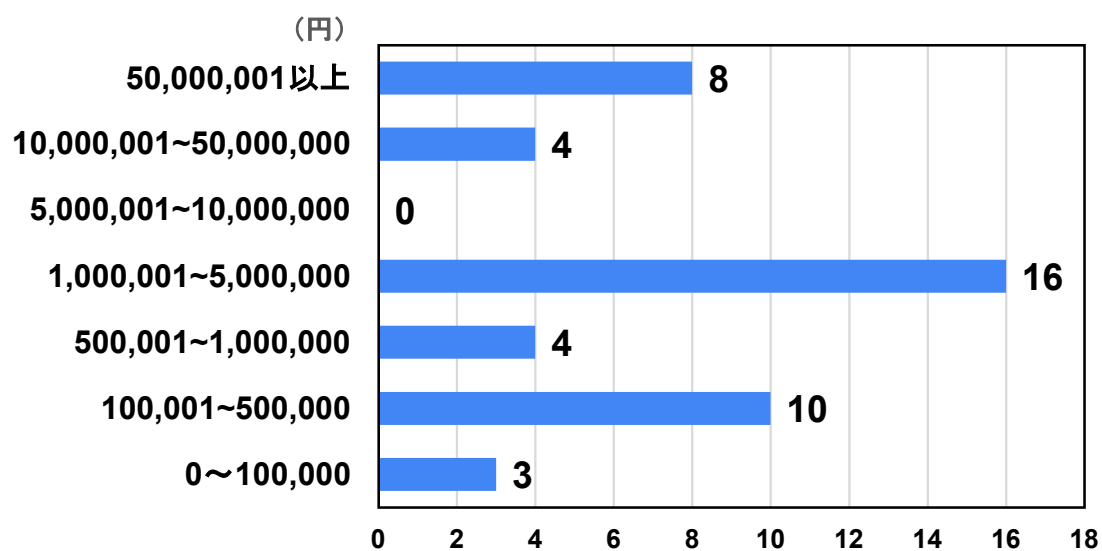
(n=46)



② 電気料金

- ・事業規模によって回答が異なる結果となった。
- ・従業員数 10 人未満の事業所における中央値は 540,000 円であった。
- ・従業員数 10～29 人の事業所における中央値は 1,200,000 円であった。
- ・従業員数 30～49 人の事業所における中央値は 4,783,527 円であった。
- ・従業員数 50～99 人の事業所における中央値は 301,792,009 円であった。
- ・従業員数 100～299 人の事業所における中央値は 58,651,147 円であった。
- ・従業員数 300 人以上の事業所における中央値は 1,289,814,227 円であった。

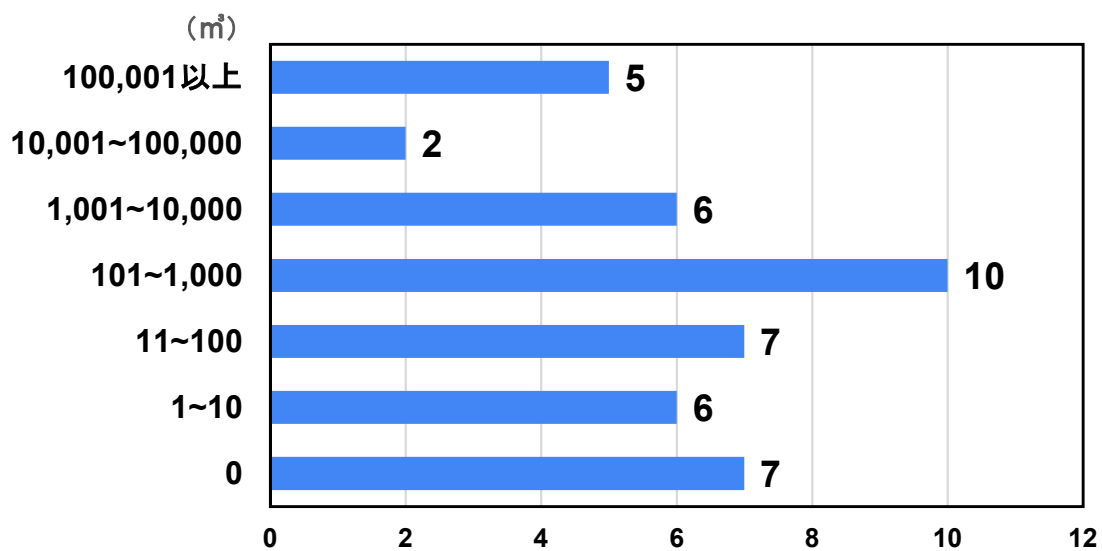
(n=45)



③ ガス使用量

- ・事業規模によって回答が異なる結果となった。
- ・従業員数 10 人未満の事業所における中央値は 26 m³であった。
- ・従業員数 10～29 人の事業所における中央値は 14 m³であった。
- ・従業員数 30～49 人の事業所における中央値は 50 m³であった。
- ・従業員数 50～99 人の事業所における中央値は 155.5 m³であった。
- ・従業員数 100～299 人の事業所における中央値は 15,803 m³であった。
- ・従業員数 300 人以上の事業所における中央値は 3,583,047.5 m³であった。

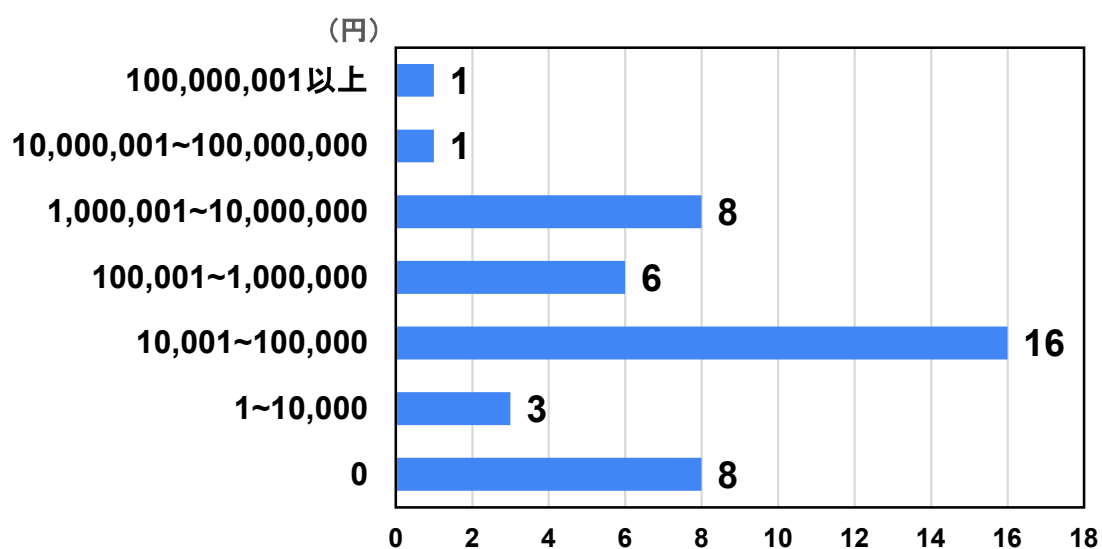
(n=43)



④ ガス料金

- ・事業規模によって回答が異なる結果となった。
- ・従業員数 10 人未満の事業所における中央値は 63,834 円であった。
- ・従業員数 10～29 人の事業所における中央値は 30,817 円であった。
- ・従業員数 30～49 人の事業所における中央値は 0 円であった。
- ・従業員数 100～299 人の事業所における中央値は 2,621,000 円であった。
- ・従業員数 300 人以上の事業所における中央値は 395,742,541 円であった。

(n=43)



⑤ その他燃料使用量

【回答】

- ・ A重油：448,000 l /年、72,000 l
- ・ ガソリン：128,918 l、5,160 l、6,450 l、9604 l、2165 l、22,912 l /年
- ・ 軽油：10,500 l、2000 l、620 l、293k l、59k l /年
- ・ 重油：475,000t、43,850 l /年、6000 l
- ・ 灯油：917.1 l (2022 年)、15000 l /年、231.3 l /年、49782.3 l、500 l、583 l、6,925 l /年、1,458k l /年、6.2k l、7,910 l、23,986 l /年、3,230 l

(n=28)

⑥ その他燃料料金

【回答】

- ・ 不明：72,000 円/年
- ・ A重油：7,428,000 円
- ・ ガソリン：21,608,869 円、907,900 円、1,080,000 円、1,722,031 円、4,653,434 円/年、386,109 円、720,000 円
- ・ 軽油：1,540,000 円、259,629 円、99,800 円
- ・ 重油：860 万円
- ・ 灯油：104,110 円 (2022 年)、26,714 円/年、6,179.303 円、60,000 円、66,381 円、9,880 円/年、841,530 円、380,228 円、214,000 円

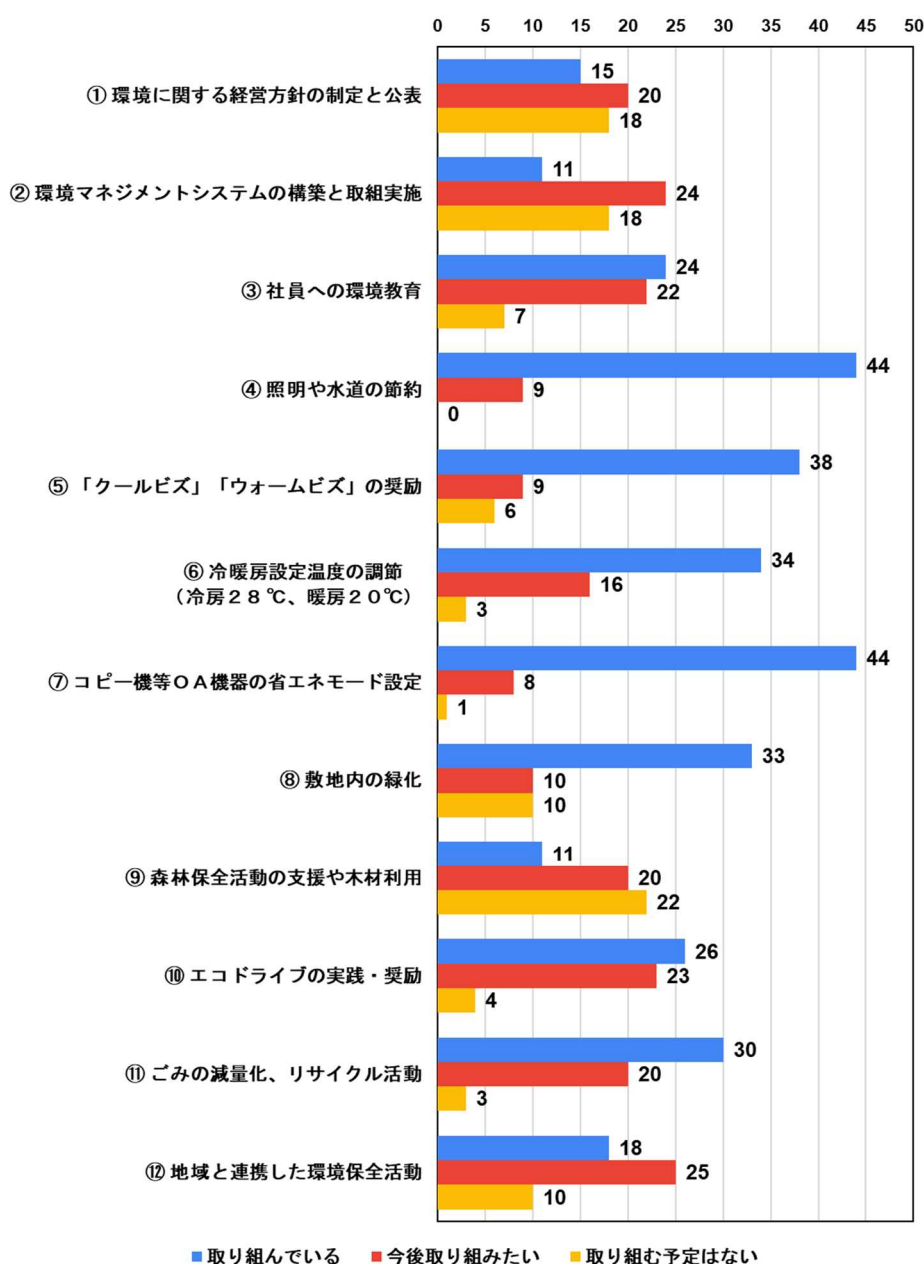
(n=22)

【質問5】 貴組織で実施している、あるいは今後実施する予定の地球温暖化対策について、該当するものを選択してください。

・取り組んでいる項目では、「④ 照明や水道の節約」、「⑦ コピー機等OA機器の省エネモード設定」が最も多く、次いで「⑤ 「クールビズ」「ウォームビズ」の奨励」、「⑥ 冷暖房設定温度の調節」の回答が多かった。

・取り組む予定のない項目では、「⑨ 森林保全活動の支援や木材利用」が最も多く、次いで「① 環境に関する経営方針の制定と公表」、「② 環境マネジメントシステムの構築と取組実施」の回答が多かった。

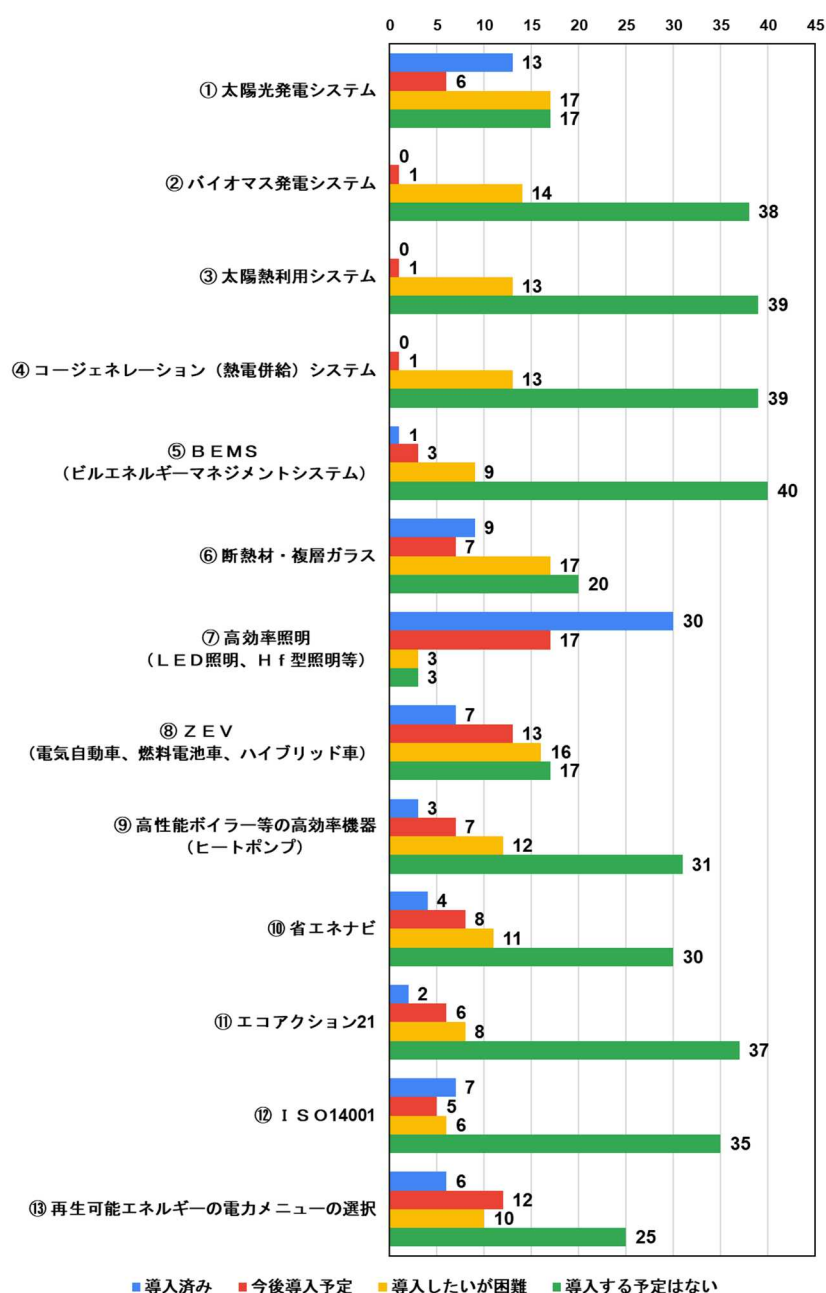
(n=53)



【質問6】省エネルギー設備、システム等に関する貴組織の導入状況について、該当するものを選択してください。

・「導入済み」の設備については、「⑦ 高効率照明（LED照明、Hf型照明等）」が最も多く、次いで「① 太陽光発電システム」、「⑥ 断熱材・複層ガラス」となった。
 ・「導入したいが困難」、「導入する予定はない」設備の合計回答数では、「② バイオマス発電システム」、「③ 太陽熱利用システム」、「④ コージェネレーション（熱電併給）システム」が多かった。

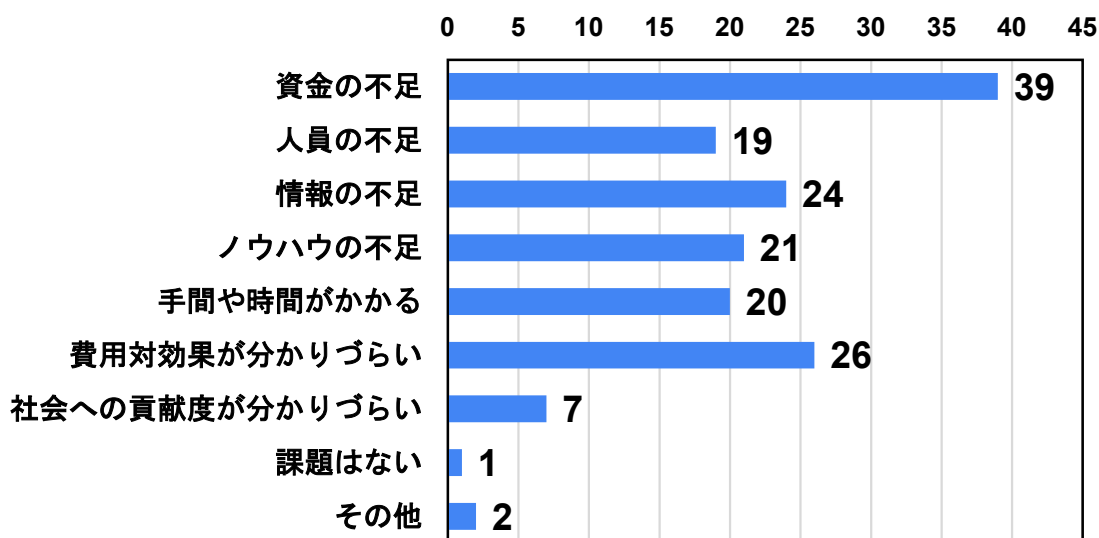
(n=53)



【質問7】 貴組織において地球温暖化対策を進める上で課題となっていることは何ですか。(複数回答可)

・組織が地球温暖化対策を進める上で課題となっていることは、「資金の不足」が最も多く、次いで「費用対効果が分かりづらい」、「情報の不足」となった。

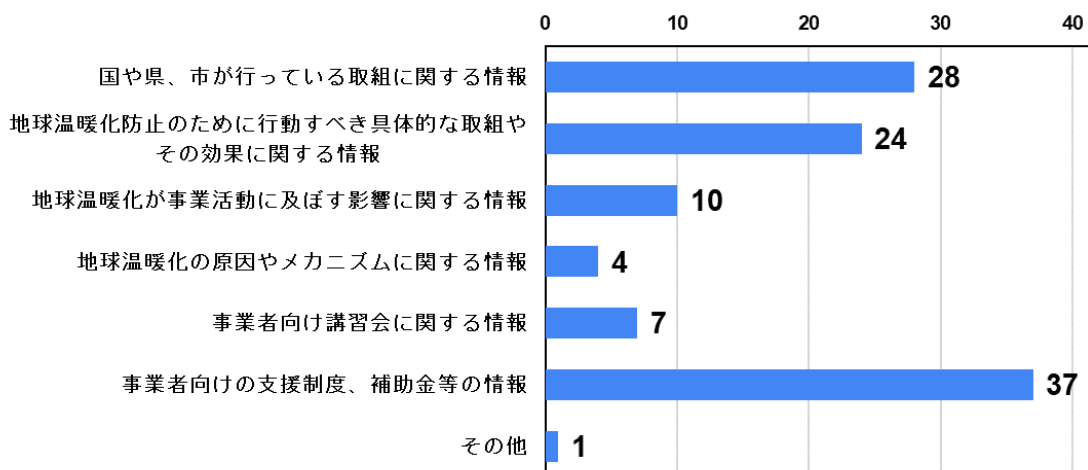
(n=53)



【質問8】 貴組織が知りたい地球温暖化に関する情報を教えてください。(複数回答可)

・組織が知りたい地球温暖化に関する情報は、「事業者向けの支援制度、補助金等の情報」が最も多く、次いで「国や県、市が行っている取組に関する情報」、「地球温暖化防止のために行動すべき具体的な取組やその効果に関する情報」となった。

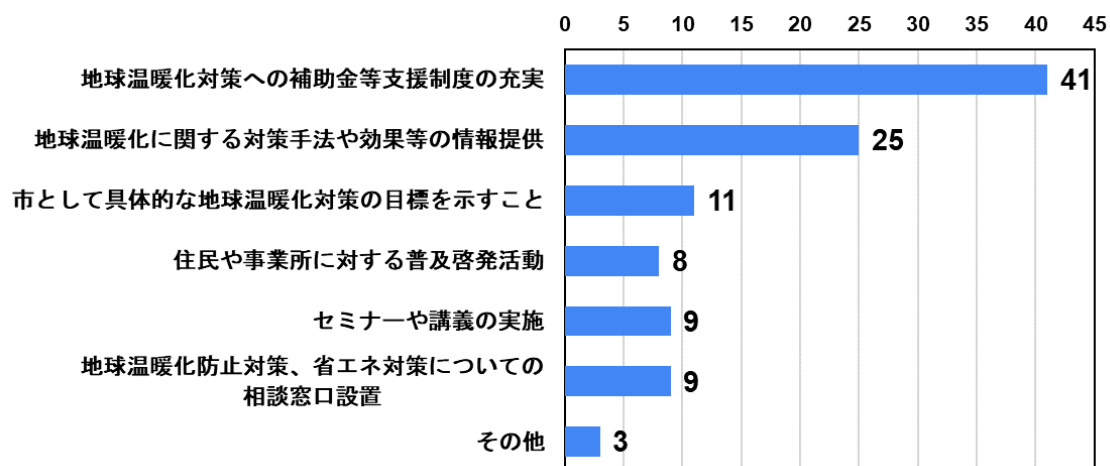
(n=53)



【質問9】 地球温暖化対策への対応について、市に行ってほしい取組は何ですか。(3つまで回答可)

・市に行ってほしい取組について、「地球温暖化対策への補助金等支援制度の充実」が最も多く、次いで「地球温暖化に関する対策手法や効果等の情報提供」、「市として具体的な地球温暖化対策の目標を示すこと」となった。

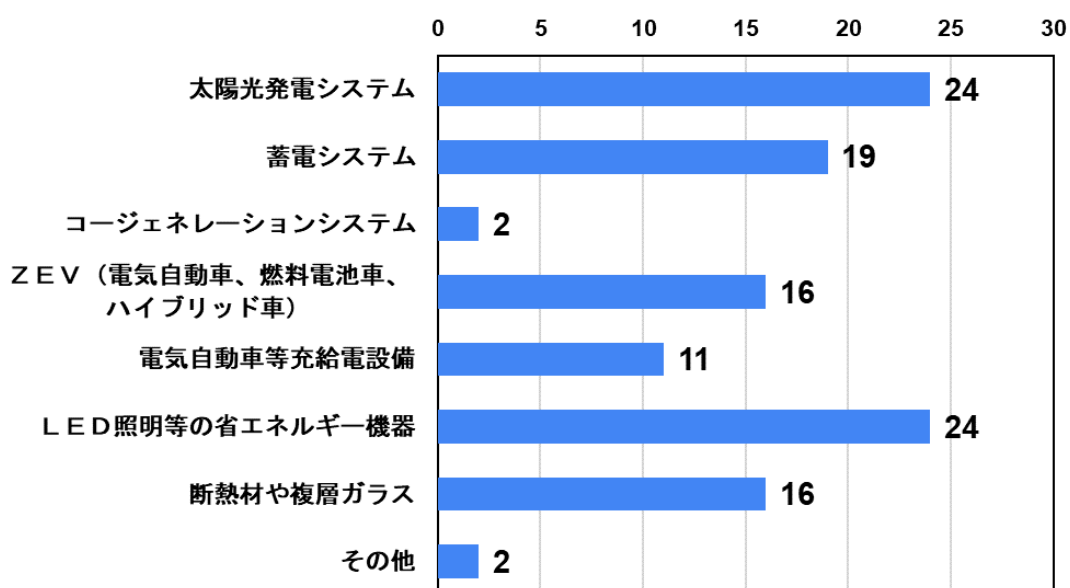
(n=53)



【質問 10】 具体的に取り入れてほしい補助金制度はありますか。(3つまで回答可)

・質問9で「地球温暖化対策への補助金等支援制度の充実」を選択された回答者のうち、取り入れてほしい補助金制度について、「太陽光発電システム」、「LED照明等の省エネルギー機器」が最も多く、次いで「蓄電システム」、「ZEV（電気自動車、燃料電池車、ハイブリッド車）」、「断熱材や複層ガラス」となった。

(n=48)



以上